

●この説明書は、必ず施工される方にお渡してください。

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。
調整後、ガタツキがないことを確認してください。

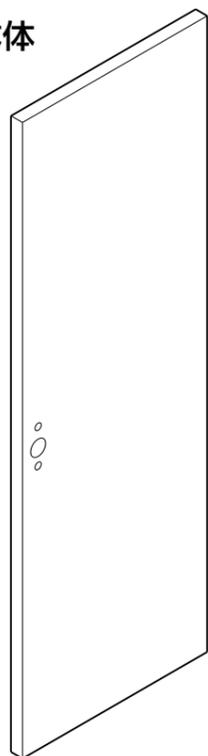
●扉を吊込んだ後、本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因になります。

■取付け上のお願い

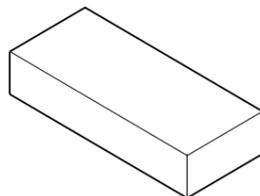
●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。

■部品・部材の明細

●ドア本体



●戸襖錠セット

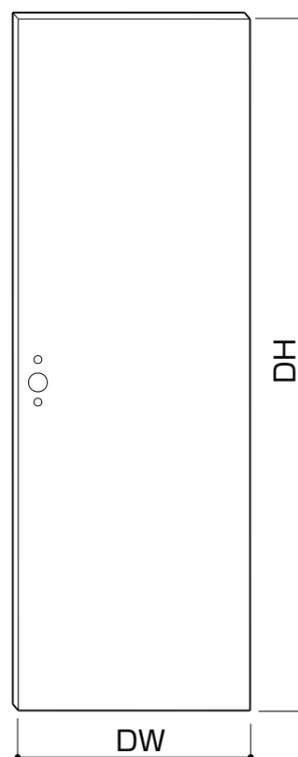


■戸襖錠セット

レバーハンドル、台座セット	1組
戸襖錠台座セット	1組
ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1本

※丁番セットは、枠の梱包に入っています。

■製品寸法表



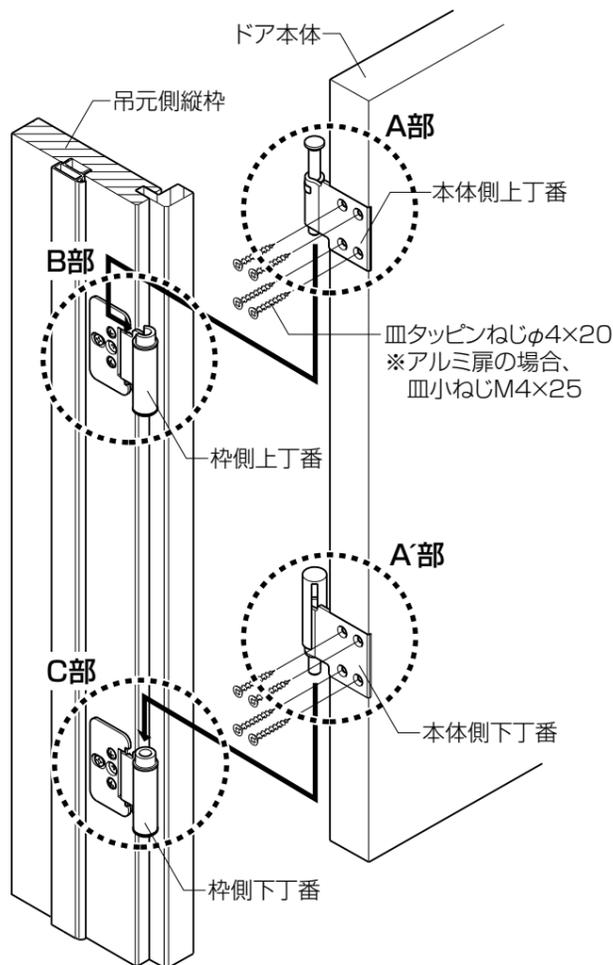
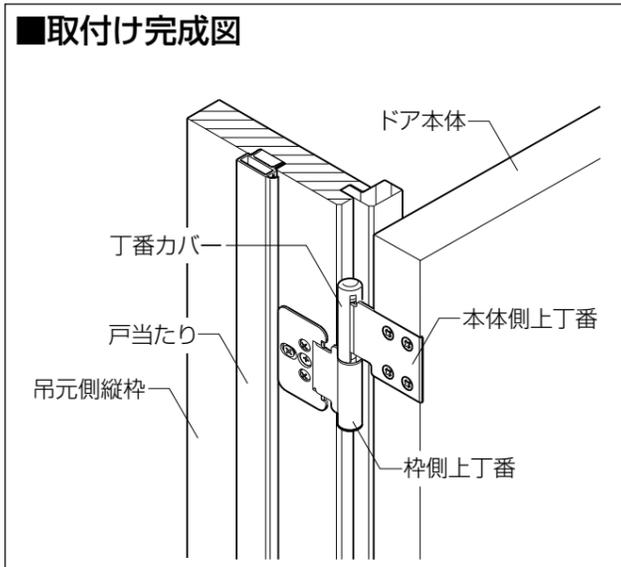
(単位:mm)

		呼称	DW	DH
戸 襖 ド ア	在 来 用	0718	686	1771
		0720	686	1991
2×4 用	0618	678	1741	
	0620	678	1941	

■取付け順序

1 ドア本体の取付け

■取付け完成図



2 把手の取付け

■取付け詳細

1 ドア本体の取付け

- ①ドア本体に、本体側丁番を皿タッピンねじφ4×20 (枠側丁番にテープ止め) で取付けます。(A・A'部)
- ②本体側下丁番のカバーを上げます。
- ③本体側上丁番のカバーを外してください。
- ④本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(A部)
※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ⑤本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(C部)
※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑥本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
- ⑦本体側上丁番の軸を止まるまで下げてください。(D図)
- ⑧本体側上丁番のカバーを取付けます。
※枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑨本体側下丁番のカバーを下げます。
※枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

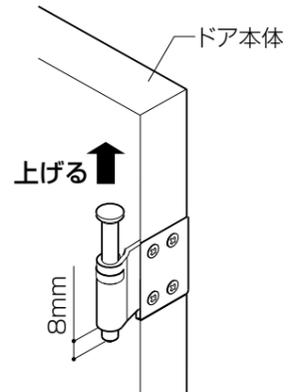
▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 丁番固定ねじの締忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因となります。調整後本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

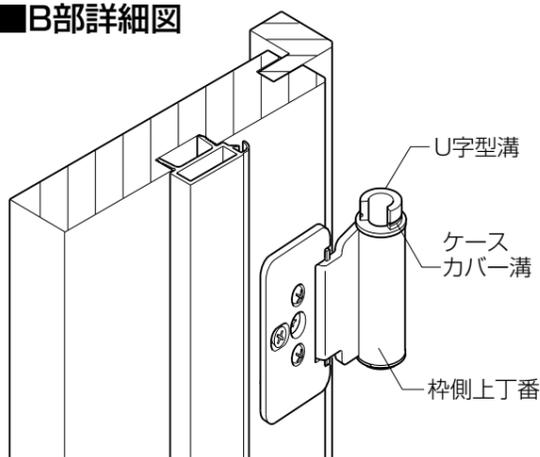
●お願い

- ※本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・湿気の多い場所
 本体のソリ・ねじれなどの原因となります。
- ※長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。本体のソリ・ねじれなどの原因となります。

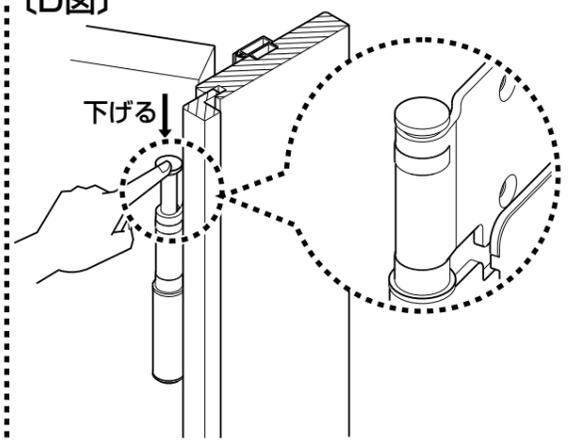
■A部詳細図



■B部詳細図

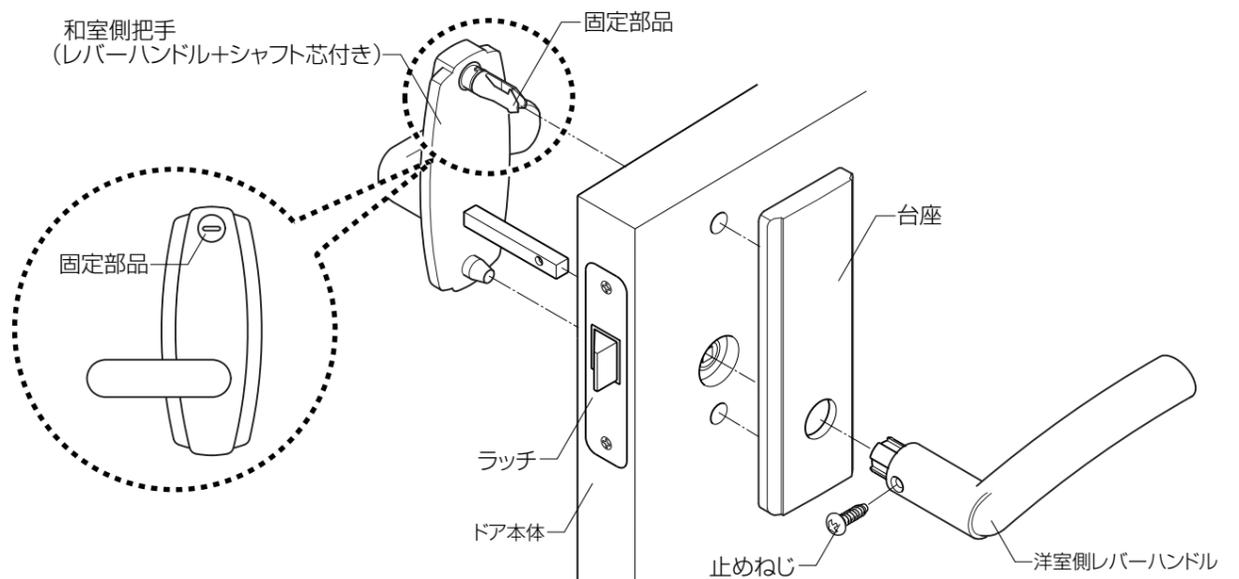


(D図)



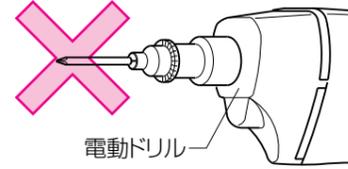
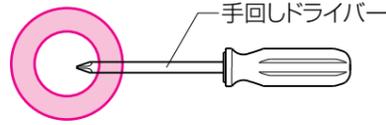
2 把手の取付け

- ①和室側把手と洋室側台座をカチッと音がするまで確実ににはめ込んでください。このとき固定部品(⊖)が水平になっていることを確認してください。
- ②洋室側レバーハンドルを差込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認してからねじで固定します。



■建付け調整（丁番による調整）

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。

不具合例	調整方法
1.ドアの上部が枠に当たる。	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③キャップをはめる。

不具合例	調整方法
2.ドアの下部が枠に当たる。	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。 ③キャップをはめる。

左右の調整

- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。

不具合例	調整方法
1.ドアの開き側が枠に当たる。	①固定ねじを緩める。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。

不具合例	調整方法
2.ドアの開き側のすき間が大きすぎる。	①固定ねじを緩める。 ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。

前後の調整

- 枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。

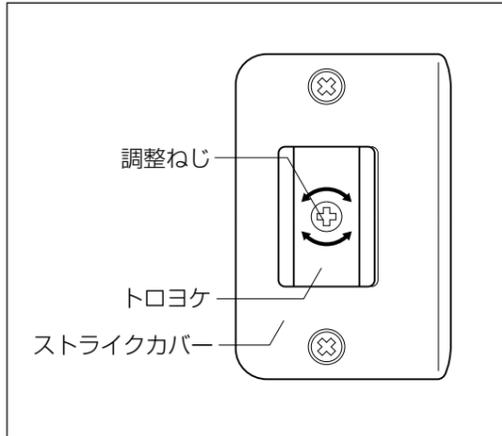
不具合例	調整方法
1.開き側の枠が前に出ている。	①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。

調整方法
①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。

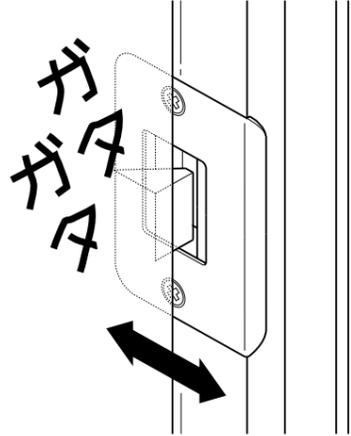
不具合例	調整方法
2.吊元側の枠が前に出ている。	①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。 ③固定ねじを締める。

調整方法
①固定ねじを緩める。 ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。 ③固定ねじを締める。

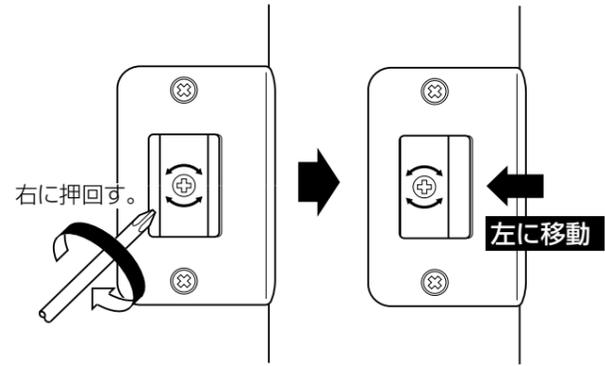
■建付け調整 (ストライクによる調整)



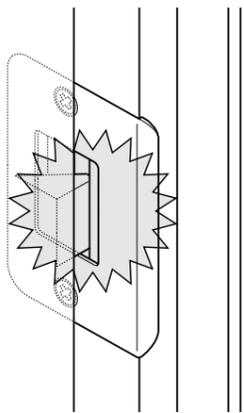
■ラッチがストライクの中でガタつく



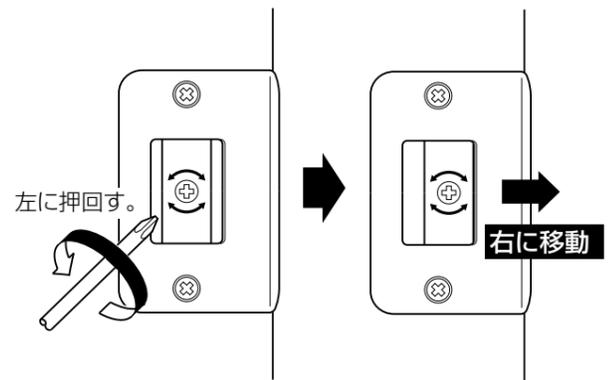
- 調整ねじを押しながら、右に回してください。無段階で移動します。



■ラッチがかからない

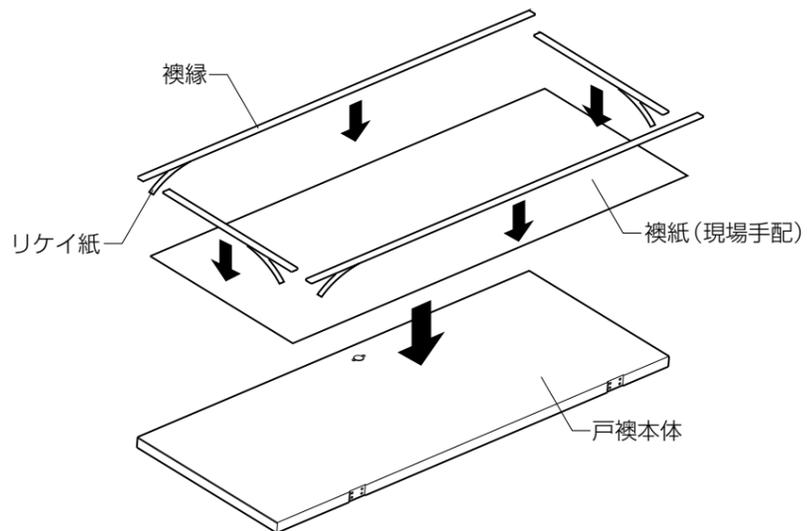


- 調整ねじを押しながら、左に回してください。



■戸襖の現地張り

- 生地タイプ(K-2)の戸襖の場合は、現地地で襖紙を張ってください。
- ①本体の生地面側(白色)に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で張ります。
- ②襖縁を、本体の寸法に合わせノコギリで切断します。
- ③襖縁のリケイ紙をはがし、襖紙の上から圧着してください。
- ※襖縁の厚さは2種類あります。厚い方を縦に、薄い方を横に使用してください。
- ※現場手配した襖紙を張った場合は、次回の張替え時から上に張増ししてください。



お願い

- クロス張りにしないでください。ソリが生じます。

■把手の取外し方法

- ①洋室側レバーハンドルの固定ねじを外し、レバーハンドルを外します。
- ②固定部品をマイナスドライバーで90°方向に回転させると台座が外せます。
- ③再度取付ける時は、固定部品をマイナスドライバーで元の状態にしてから取付けを行ってください。

